

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 74

学校名・団体名	舞鶴市立若浦中学校
HPアドレス	<a href="http://wakaura.maizuru.ed.jp/">http://wakaura.maizuru.ed.jp/</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	『ふるさとを愛する生徒の育成』
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>シベリア抑留者を含む引揚者を受け入れた地の住民として、史実を忠実に学習するとともに、当時の舞鶴に住む方々は引き揚げてこられた方々を精一杯のおもてなしで迎えたことについて知り、そうした先人たちの立派な行動に誇りを持つとともに、恒久的に平和を願う心を育てる。さらには常に相手の立場を思いやることができる心を育てる。</p>	

【活動時期、及び内容】

< 5月 こどもの日セレモニー >

場所：舞鶴引揚記念館

ハンドベル演奏、引揚紙芝居の読み聞かせ



< 5月 引揚を学ぶ(生徒会) >

場所：若浦中学校

引き揚げ体験者から体験談を伺う



< 6月 引揚を学ぶ(1年) >

場所：若浦中学校

体験談、引揚紙芝居の読み聞かせ



< 8月 ナイトミュージアム >

場所：若浦中学校

和太鼓演奏、引揚紙芝居の読み聞かせ



< 10月 読み聞かせ活動 >

場所：若浦中学校

校区小学生へ引揚紙芝居の読み聞かせ



<10月 読み聞かせ活動>

場所：地元公民館

「世代交流フェスタ」で引揚紙芝居の読み聞かせ



<10月 読み聞かせ活動 >

場所：京都府中丹文化会館

引揚紙芝居の読み聞かせ



<10月 読み聞かせ活動・おもてなし活動 >

場所：舞鶴引揚記念館

引揚紙芝居の読み聞かせ

PTA 研究大会分科会開会セレモニーでのハンドベル演奏



【成果や生徒への効果】

今回の取組を通して、本校の生徒は舞鶴引揚記念館や舞鶴引揚記念館の語り部の方から引揚の史実や戦争の悲惨さを学び平和への願いを強く抱くことができた。代表の生徒が引揚の史実を伝えるために舞鶴引揚記念館所蔵の「引揚紙芝居」を語り部の方に指導していただきながら、本校や舞鶴引揚記念館、京都府中丹文化会館などで読み聞かせを行えた。さらに10月には地元の公民館に出向き自作資料による読み聞かせを行い、その中で「異国の丘」を参加者とともに合唱することができた。

活動母体は生徒会を中心とする少数のグループであるが、こうした引揚の史実を通して学ぶ戦争の悲惨さを伝えることで、引揚の港である舞鶴のことをさらに深く知り、ふるさとを理解し愛する生徒が増えた。また、生徒たちは読み聞かせを行っているとき、涙を流して聞いておられる年配の方の姿に触れ、自分たちの行っている活動に自信を持ち、さらに積極的に読み聞かせの活動に意欲を持つことができた。

今回、紙芝居の読み聞かせや小中学生や高校生との交流会での発表の際に、助成していただいたタブレットを活用することができた。今後も、タブレットを有効活用したい。

平成29年度に向け、舞鶴引揚記念館が新たな「語り部」養成講座を開催したところ、今年度読み聞かせ活動に参加した生徒を含む3名の中学生が応募した。今後の訪問する小学生への語り部活動を期待している。